

# 第1回 高松中心市街地プロムナード化検討会議

日時：令和5年4月24日（月）14時30分～

場所：香川県庁 本館 21階 特別会議室

## 次 第

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 検討会議の設置趣旨
  - (2) サポート高松地区のプロムナード化について
- 3 閉会

### <配布資料>

資料1 高松中心市街地プロムナード化検討会議 設置要綱

資料2 第1回 高松中心市街地プロムナード化検討会議 説明資料

## 高松中心市街地プロムナード化検討会議 設置要綱

## (目的及び設置)

第1条 高松中心市街地において、より一層のにぎわいを創出するため、歩行空間の課題を抽出し、都市空間の再編に向けた検討を行うことを目的として、高松中心市街地プロムナード化検討会議（以下「会議」という。）を置く。

## (会議)

第2条 会議は、別表に掲げる委員で組織する。

- 2 会議に委員長及び副委員長を置き、委員長は、委員の互選によって定め、副委員長は、委員長が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が不在又は事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
- 6 委員に支障があるときは、当該委員が委任する者が会議に出席し、議決に加わることができる。ただし、委員長、副委員長は他の者に委任できない。
- 7 会議は、委員長が招集し、議長となる。ただし、最初に開催される会議及び委員の任期満了後における最初の会議は事務局長が招集する。
- 8 委員長は、必要があると認めるときは、関係者に対し、資料の提出や出席を求めることができる。また、検討状況に応じて、会議に諮り、委員の改選を行うことができる。
- 9 委員長は、指定感染症の感染拡大防止或いはその他理由により、やむを得ないと認める場合は、書面会議又はインターネット環境等を利用した会議を開き、議決を得ることができる。

## (会議の公開)

第3条 会議は、原則として公開するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合であって、委員長が会議の全部又は一部を公開しない旨を決定したときは、この限りではない。

- 一 香川県情報公開条例（平成12年条例54号）第7条各号に定める情報に該当すると認められる事項について審議等を行う場合
  - 二 公開することにより、公正かつ円滑な検討が著しく阻害され、会議の目的が達成できなくなると認められる場合
  - 三 その他、委員長が必要と認める場合
- 2 前項の規定により会議を公開する場合において、議長は、会議の運営上必要があると認めるときは、傍聴人の数の制限その他必要な措置を講じることができる。

## (事務局)

第4条 事務局は、委託業務受注者が行う。

- 2 事務局は、会議の運営に必要な事務を行う。

## (その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和5年4月24日から施行する。
- 2 この要綱は、会議の設置目的を達成したときにその効力を失う。

別表 委員（16名）

（敬称略 令和5年4月24日現在）

区 分	職 名	氏名	備 考
学識経験者	日本大学工学部 教授	中村 英夫	
	香川大学経済学部 教授	西成 典久	
	日本政策投資銀行 四国支店長	柏原 亮	
交通事業者・ 地区内関係者	四国旅客鉄道（株）事業開発本部 担当部長	高瀬 直輝	
	（一社）香川県バス協会 専務理事	今西 照章	
	香川県旅客船協会 会長	堀川 満弘	
	シンボルタワー開発（株） 専務取締役	石川 孝雄	
関係行政 機関	国土交通省四国地方整備局 建政部長	宮武 一郎	
	国土交通省四国地方整備局 道路部長	清水 純	
	国土交通省四国運輸局 交通政策部長	久保 雅寛	
	香川県警察本部交通部長	中村 弘孝	
	高松市創造都市推進局長	中川 昌之	
	高松市都市整備局長	板東 和彦	
	香川県交流推進部長	多田 仁	
	香川県土木部長	竹内 正巳	
香川県教育委員会 新県立体育館整備推進総室長	海津 洋		

# 第 1 回 高松中心市街地プロムナード化検討会議

令和 5 年 4 月 2 4 日 ( 月 )

香川県庁本館 2 1 階 特別会議室

# 第1回 高松中心市街地プロムナード化検討会議 説明資料

- 1 検討会議の設置主旨について . . . . . P 1
- 2 サポート高松地区について
  - (1) サポート高松地区の経緯・現状
    - ①サポート高松地区の成り立ち . . . . . P 3
    - ②交通結節点の状況 . . . . . P 4
    - ③道路、緑地、広場等の整備状況 . . . . . P 5
    - ④交通量（自動車、歩行者）、歩行経路 . . . . . P 6
    - ⑤バスの運行ルート . . . . . P 7
    - ⑥イベント開催状況、シンボルタワー入居状況 . . . . . P 8
    - ⑦観光に関する状況 . . . . . P 9
  - (2) 新たな施設の立地計画 . . . . . P10
  - (3) 香川県総合計画の見直し . . . . . P13
  - (4) サポート高松地区の問題 . . . . . P14
- 3 サポート高松地区のプロムナード化について
  - (1) 基本的な考え方 . . . . . P15
  - (2) 将来イメージ . . . . . P16
  - (3) 検討フロー . . . . . P17
- 4 検討にあたっての取り組みについて . . . . . P18
- 5 今後の進め方について . . . . . P19

# 1 検討会議の趣旨について

- 人口減少、脱炭素社会において、いかに持続可能な都市に転換するかが課題となっている。
- 高松市では、今年7月に「持続可能な都市開発に向けた協働」をテーマとした、「G7香川・高松都市大臣会合」が開催される。
- この機会に、高松地区の都市における課題を再度抽出し、都市空間の再編に向けた検討を行う。

## 持続可能な都市の実現



**KAGAWA TAKAMATSU**  
Sustainable Urban Development  
Ministers' Meeting



G7香川・高松都市大臣会合が、今年7月7～9日に高松市で開催予定

出典：香川県HP

古くから取り組んできたヨーロッパに加え、近年、世界中の都市で車中心から人中心の空間に再編し、にぎわいを創出する取り組みが進められている。

### 事例 自動車のための空間を歩行者空間へ転換

(ニューヨーク・タイムズスクエア)

タイムズスクエアはかつて、街路空間の89%(約17,000㎡)が車道に占められている一方、人々の交通はその82%が歩行でなされているというアンバランスが生じていた。そこで、半年間に渡る社会実験を経て、従来の大量

に自動車の行き交う道路から恒久的に広場化がなされ、歩行者優先のストリートに大胆に転換した。



Before

タイムズスクエアの歩行者数は11%増加。

74%の市民がタイムズスクエアは劇的に改善されたと回答

3年目の売上増加率が+47%を記録した地域も



After

出典：ストリートデザインガイドライン 国土交通省 都市局・道路局

# 1 検討会議の趣旨について

- 県立アリーナなどの新たな施設整備にあわせた、サンポート高松地区のより一層のにぎわい創出
- 地域資源である瀬戸内海や史跡高松城跡 玉藻公園を活かしたまちづくり
- サンポート高松地区～中央通り～高松中央商店街の回遊性向上
- 高松市が目指すウォーカブルなまちづくりの推進

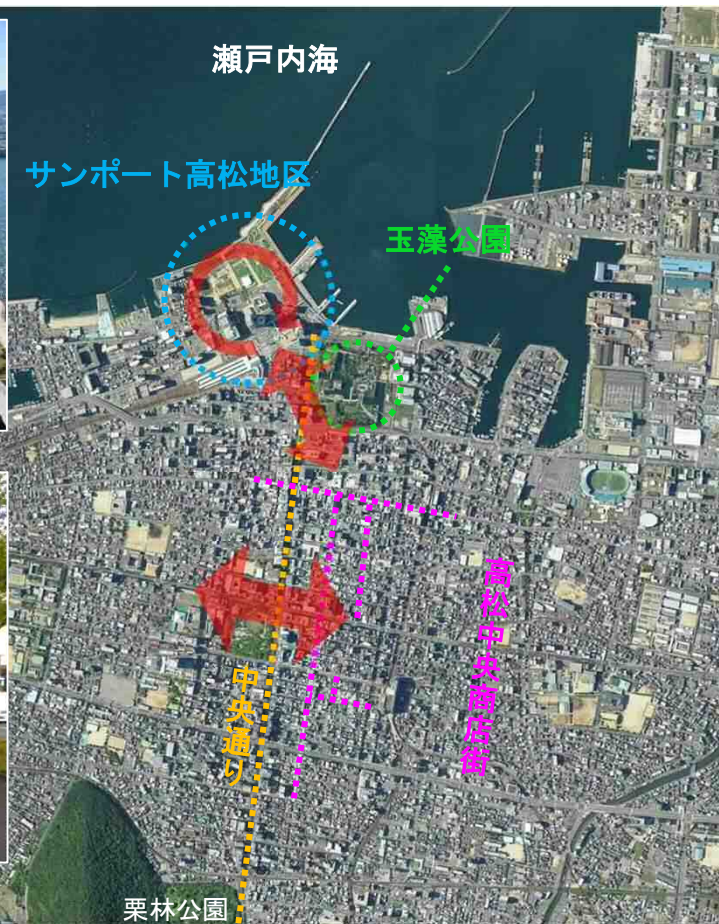
サンポート高松地区



高松中央商店街



中央通り



中心市街地で歩行者専用空間を創出するイベントの状況



地理院地図を使用し加筆





# (1) サポート高松地区の経緯・現状

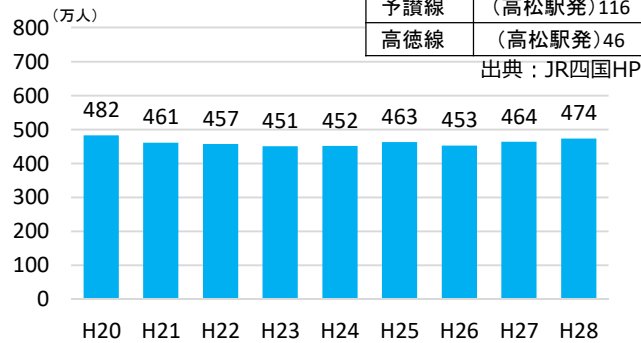
# ②交通結節点の状況

- 平成23年以降、JR高松駅、ことでの利用者数は、増加傾向。
- 高松市全体のバス路線の利用者数は年々増加、高速バスの利用者数は微増。
- フェリーの利用者数は、増加傾向。

## ■交通結節点の利用状況及び運行サービス状況

### 【鉄道（JR高松駅）】

○利用者数の推移



出典：高松市統計年報

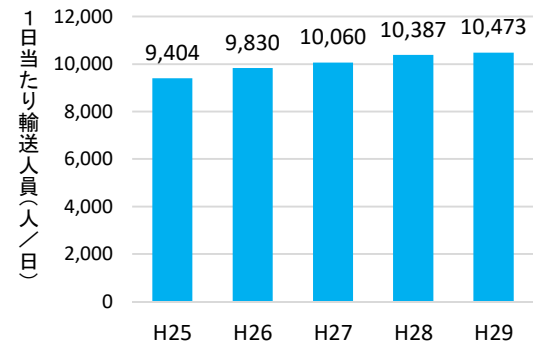
○主要路線の運行本数

路線	本数/日
予讃線	(高松駅発)116
高德線	(高松駅発)46

出典：JR四国HP

### 【バス路線※高松市全体】

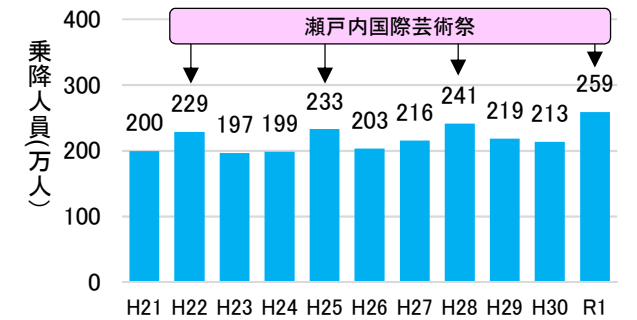
○利用者数の推移



出典：ことでんバス資料

### 【フェリー】

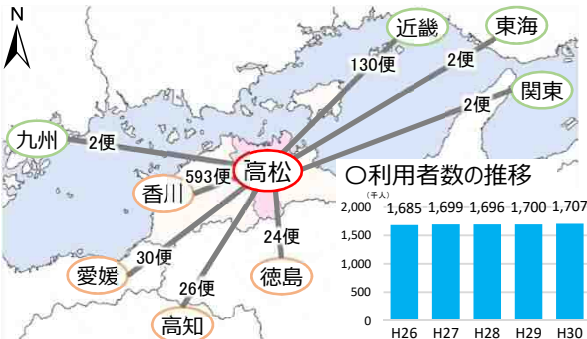
○高松港 離島航路における乗降人員の推移



出典：香川県資料

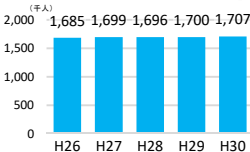
### 【高速バス】

○高松駅から連絡する高速バス系統



出典：四国高速バス、ことでんバス

○利用者数の推移



出典：四国における運輸の動き

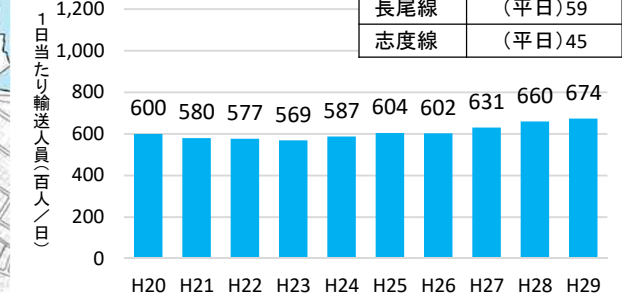


### 【鉄道（ことでん）】

○主要路線の運行本数

路線	下り本数/日
琴平線	(平日)62
長尾線	(平日)59
志度線	(平日)45

○利用者数の推移



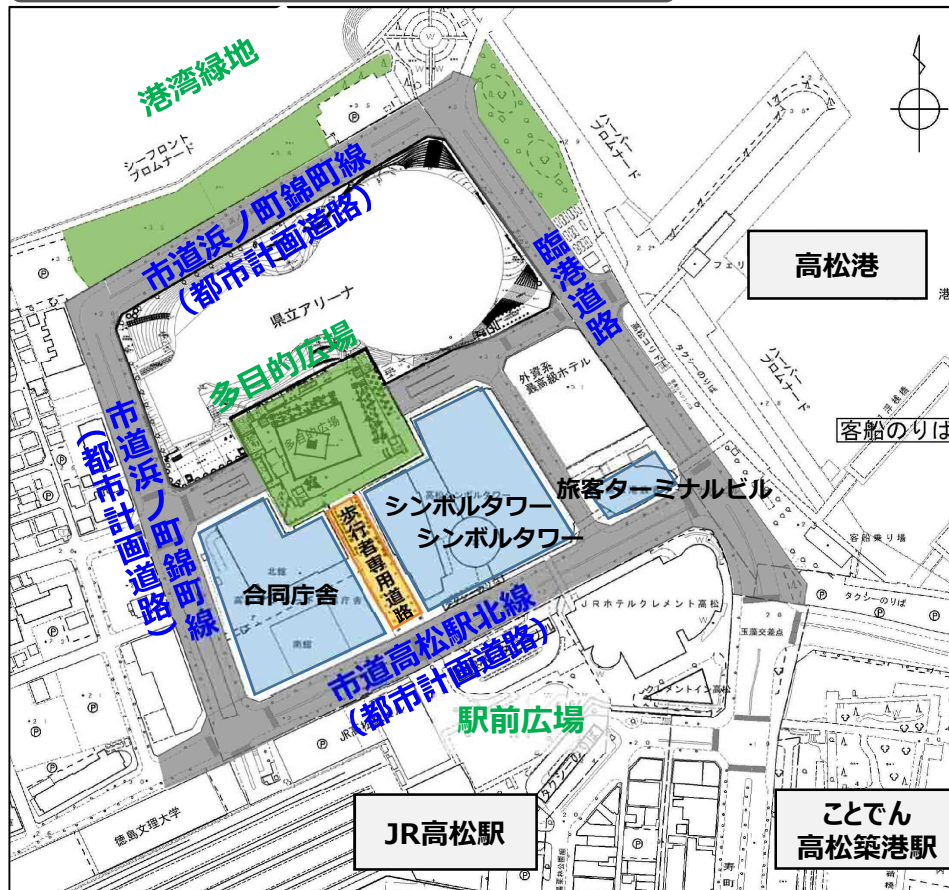
出典：ことでん資料

出典：第1回高松市サポート地区都市再生検討委員会資料

# (1) サポート高松地区の経緯・現状 ③道路、緑地、広場等の整備状況

- 地区内交通処理、地区の発展と都市機能の充実を図るため、周囲に全幅25mの4車線道路を整備。
- 新たな水辺空間の創出のため、港湾緑地を整備。
- 地区のにぎわい創出のため、多目的広場を整備。

## 道路、緑地、広場等の整備状況



歩行者専用道路



多目的広場



港湾緑地 (シーフロントプロムナード)

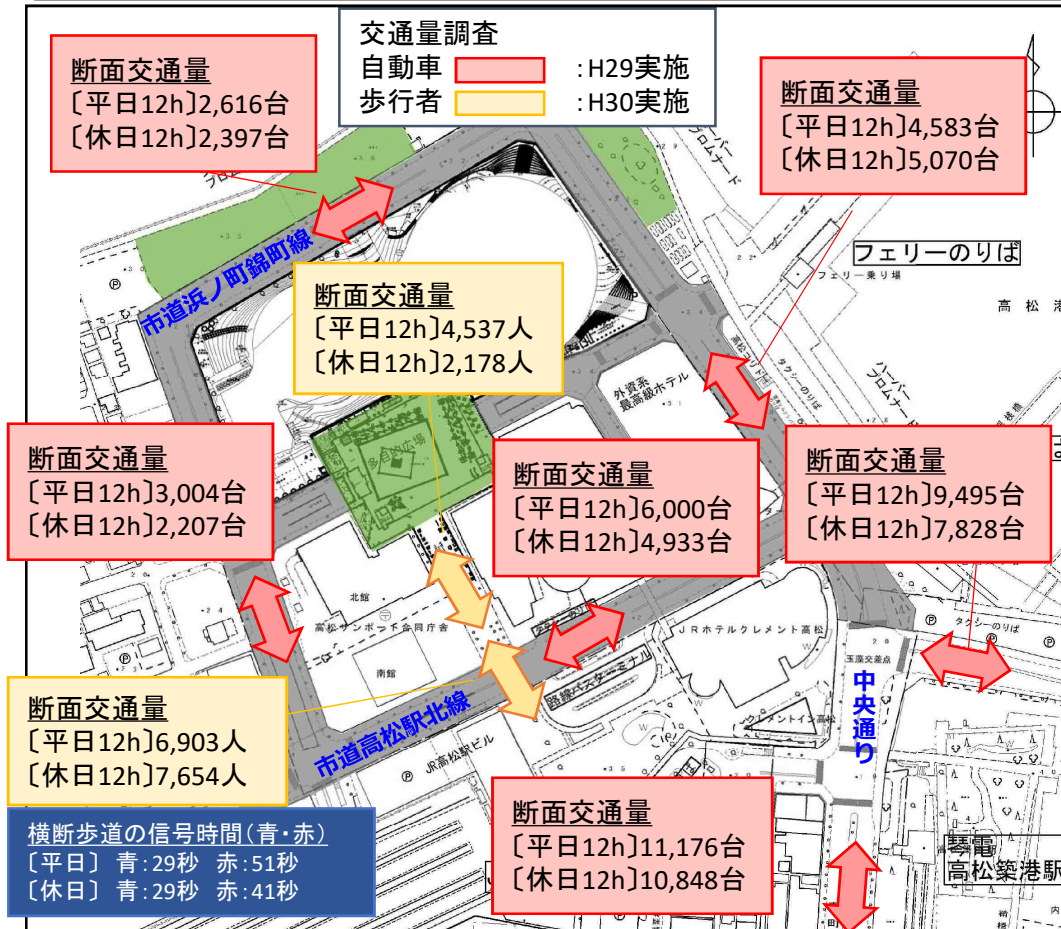


駅前広場

# (1) サポート高松地区の経緯・現状 ④交通量（自動車、歩行者）、歩行経路

- 自動車交通量：周回道路では、市道高松駅北線の交通量が最も多く、6,000台/12h（平日）となっている。本町踏切の渋滞に伴う迂回交通が見られる。
- 歩行者交通量：JR高松駅から北へ横断する歩行者は休日の方が約1割多く、7,654人/12hとなっている。
- 歩行経路：JR高松駅から多目的広場方面への歩行経路は、屋外イベント時においてシンボルタワー西側の歩行者専用道路利用が7割以上と突出して多い。

## 交通量（自動車、歩行者）



## JR高松駅からの歩行経路

サポート高松でのアンケート調査結果を基に作成

イベント名：さぬきマルシェ  
 開催場所：サポート高松大型テント広場  
 開催時期：R年8月4日（日）8：00 開始/15：00 終了



# (1) サポート高松地区の経緯・現状 ⑤バスの運行ルート

○JR高松駅から西に向かうバスは、3路線となっている。



凡		例	
1		まちなかループバス	
2		レインボー循環バス	
3		高松空港リムジンバス・通勤特急	
4		郊外線 西方面	
5		郊外線 南方面	
6		郊外線 東方面	
7		朝日町線(高松駅-県立中央病院-朝日町)	
8		大川バス・引田線(高松駅-引田)	
9		イオン高松線	
10		日赤シャトルバス	

出典：琴電バス株式会社「市内中心部詳細図(地図)」。  
<https://www.kotoden.co.jp/publichtm/bus/rosen/index.html>  
 ,(参照 2023-04-05)

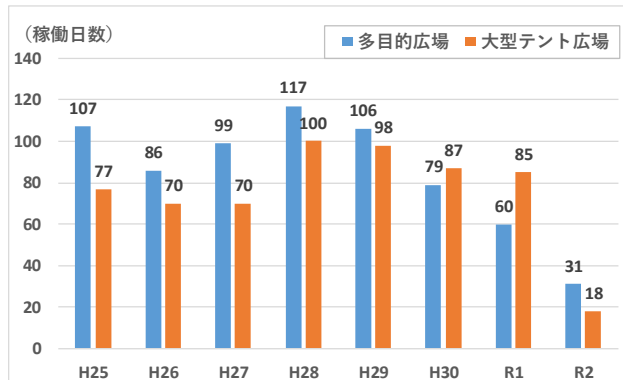
# (1) サポート高松地区の経緯・現状 ⑥ イベント開催状況、シンボルタワー入居状況

○コロナ前の多目的広場と大型テントの稼働日数は年間70日以上であった。  
 ○シンボルタワーの民間商業部分には、現在約20社が入居しているが、入居率はコロナ禍で減少傾向。

## イベント開催状況（多目的広場、大型テント広場）

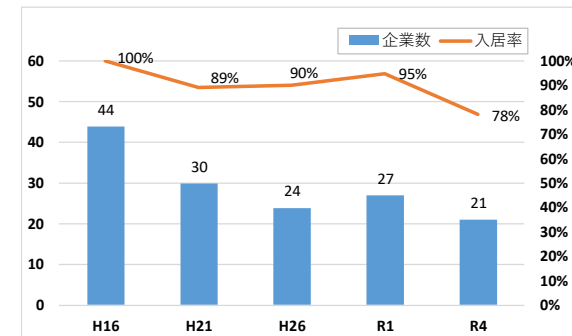


近年の広場の稼働日数（多目的広場、大型テント広場）

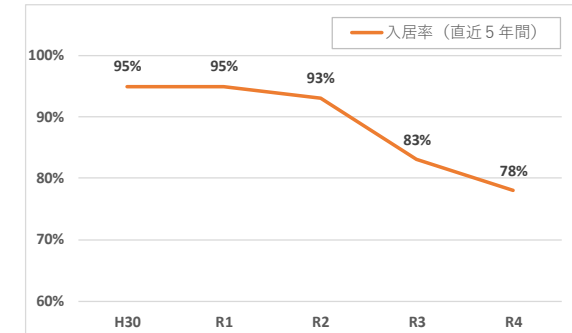


## シンボルタワー（民間商業部分）入居状況

シンボルタワー（民間商業部分）の企業数と入居率



シンボルタワー（民間商業部分）の入居率（直近5年間）



# (1) サポート高松地区の経緯・現状 ⑦観光に関する状況

- 観光客数は増加傾向、特に、インバウンド客の増加が顕著。
- 2019年に訪れたい場所第7位に瀬戸内エリアが※1、2020年に訪れるべき目的地10選に国内の都市で唯一高松市が選出される※2など、近年、観光地として世界中から注目されている。

※1：NYタイムズ紙、※2：ブッキングドットコム

## 観光に関する現状

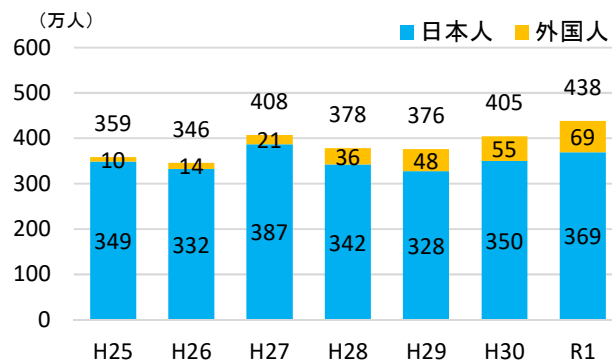
### 【瀬戸内地域への注目】

○52 Places to Go in 2019

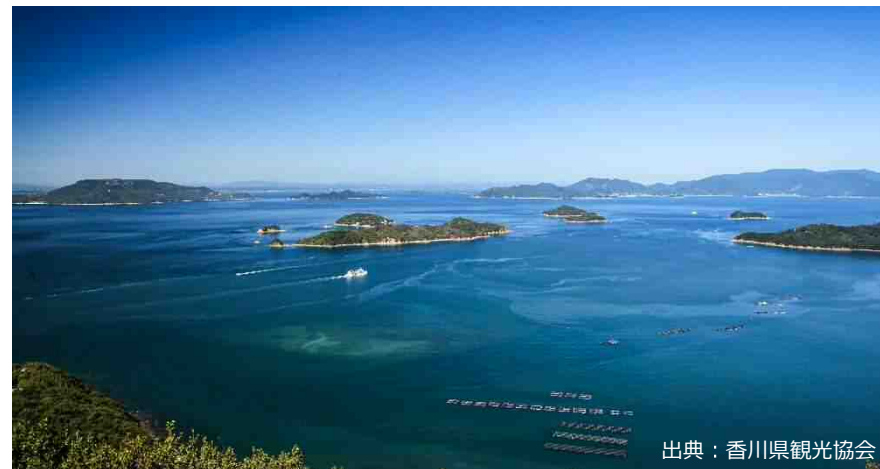
2019に訪れたい場所	
第1位	プエルトリコ
第2位	ハンピ(インド)
第3位	サンタバーバラ(アメリカ)
第4位	パナマ
第5位	ミュンヘン(ドイツ)
第6位	エイラート(イスラエル)
第7位	<b>瀬戸内エリア</b>
第8位	オールボー(デンマーク)
第9位	アゾレス諸島(ポルトガル)
第10位	オンタリオの氷の洞窟(カナダ)

出典：NYタイムズ誌

### 【香川県への観光目的宿泊者数の推移】



出典：宿泊旅行統計調査



出典：香川県観光協会

Takamatsu, Japan



Takamatsu, also known as Udon Kingdom and the Gateway of Shikoku, is a port town that's the perfect vacation for travelers interested in vibrant food scenes and scenic backdrops. Once you have finished feasting on noodles, a must-visit is the picturesque Ritsurin Park. The park is a Japanese national treasure and is home to many tea houses where travelers can experience a traditional Japanese tea ceremony, plus the Engetsu-kyo (moon crossing) bridge and iconic lotus ponds.

**Where to stay:** Complete your trip to Japan by staying in an authentic Ryokan (a traditional Japanese inn), with a visit to [Kiyomisanjo Hangjyukai](#). This accommodation is located in Takamatsu, with nearby sites including the Kitahamaebisu Shrine and the Heike Monogatari Historical Museum. Travelers can enjoy a soak in the hot spring bath, a delicious Asian breakfast and sea views from their private balcony.

出典：「ブッキングドットコム」HP

## (2) 新たな施設の立地計画

○サンポート高松地区では、本県スポーツの中核的な機能を有する施設として、また、交流人口の拡大やにぎわいづくりの拠点となる施設として、令和7年3月の開設に向けて香川県立アリーナの整備を進めており、さらにJR四国による駅ビルの建設、徳島文理大学の移転及び外資系最高級ホテルの誘致など、地区の魅力向上させる計画が進められている。

### サンポート高松地区の魅力向上させる新たな施設整備

#### 香川県立アリーナ

2025年(令和7年)開設予定



出典: 香川県HP

#### 徳島文理大学高松駅キャンパス

2025年(令和7年)開学予定



出典: 徳島文理大学HP

#### 外資系最高級ホテル

2025年(令和7年)開業予定



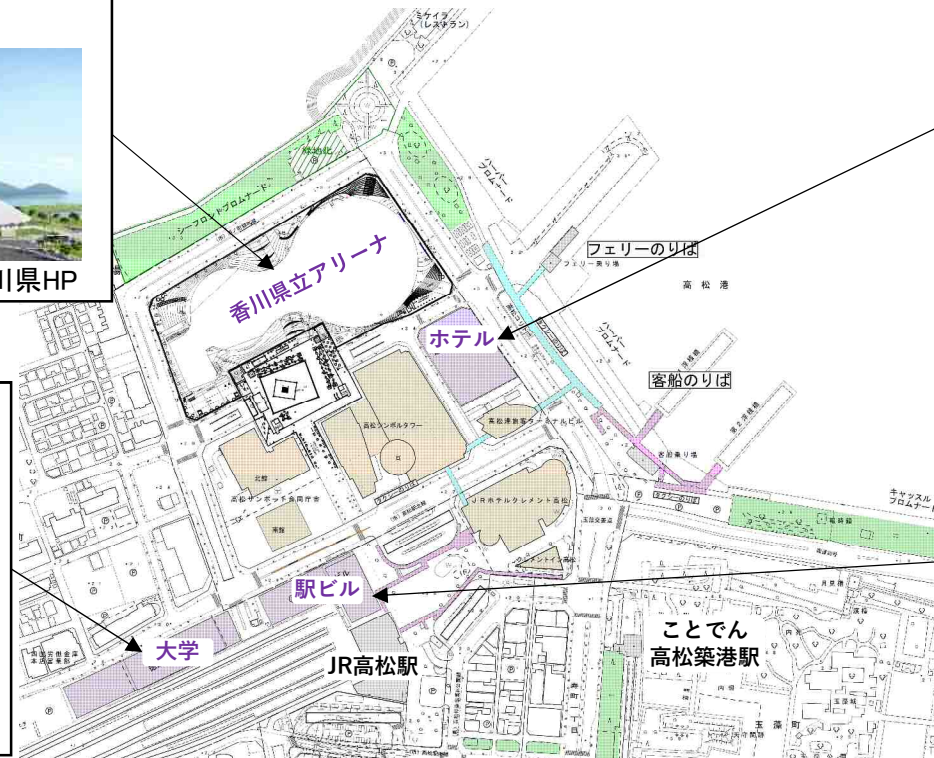
出典: 四国電力HP

#### JR四国 高松駅ビル

2023年度(令和5年度)開業予定



出典: JR四国HP





## (2) 新たな施設の立地計画 香川県立アリーナ

### ○香川県立アリーナの特徴

- ・様々な用途に利用できる多目的アリーナ
- ・最大収容人数は、中四国最大級の約1万人（コンサートアリーナツアー、MICEなどに利用可能）
- ・サンポートの環境に調和した、利用しやすい施設
- ・交流エリアを設けた新しい発想のアリーナ

### 香川県立アリーナの整備イメージ



Copyright (C) 2021 Kagawa Prefectural Government and SANAA. All rights reserved.

建築面積	18,950㎡
延床面積	31,212㎡（東駐車場含む）
構造形式	鉄骨造、鉄筋コンクリート造／杭基礎
最高高さ	27.7m
施設構成	メインアリーナ 固定席5,024席 サブアリーナ 固定席1,002席 武道施設 固定席 327席
駐車場	東駐車場：68台（身障者用2台含む） 西駐車場：32台（身障者用2台含む）
駐輪場	自転車・自動二輪車 565台



Copyright (C) 2021 Kagawa Prefectural Government and SANAA. All rights reserved.

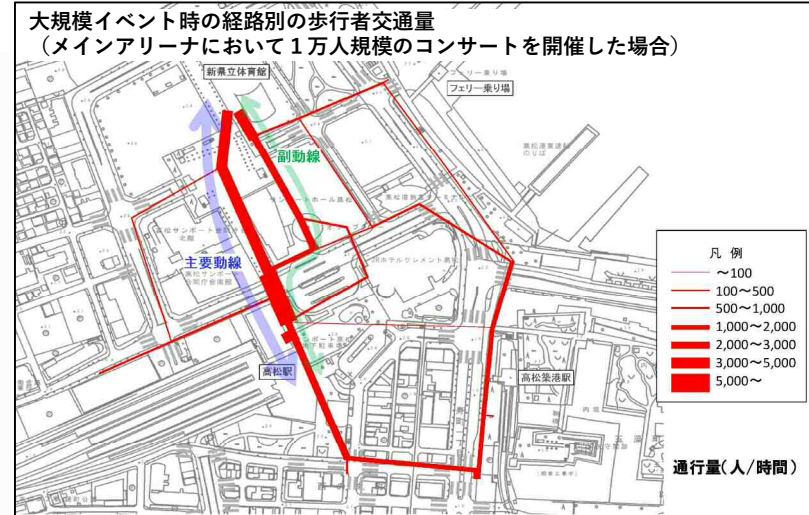
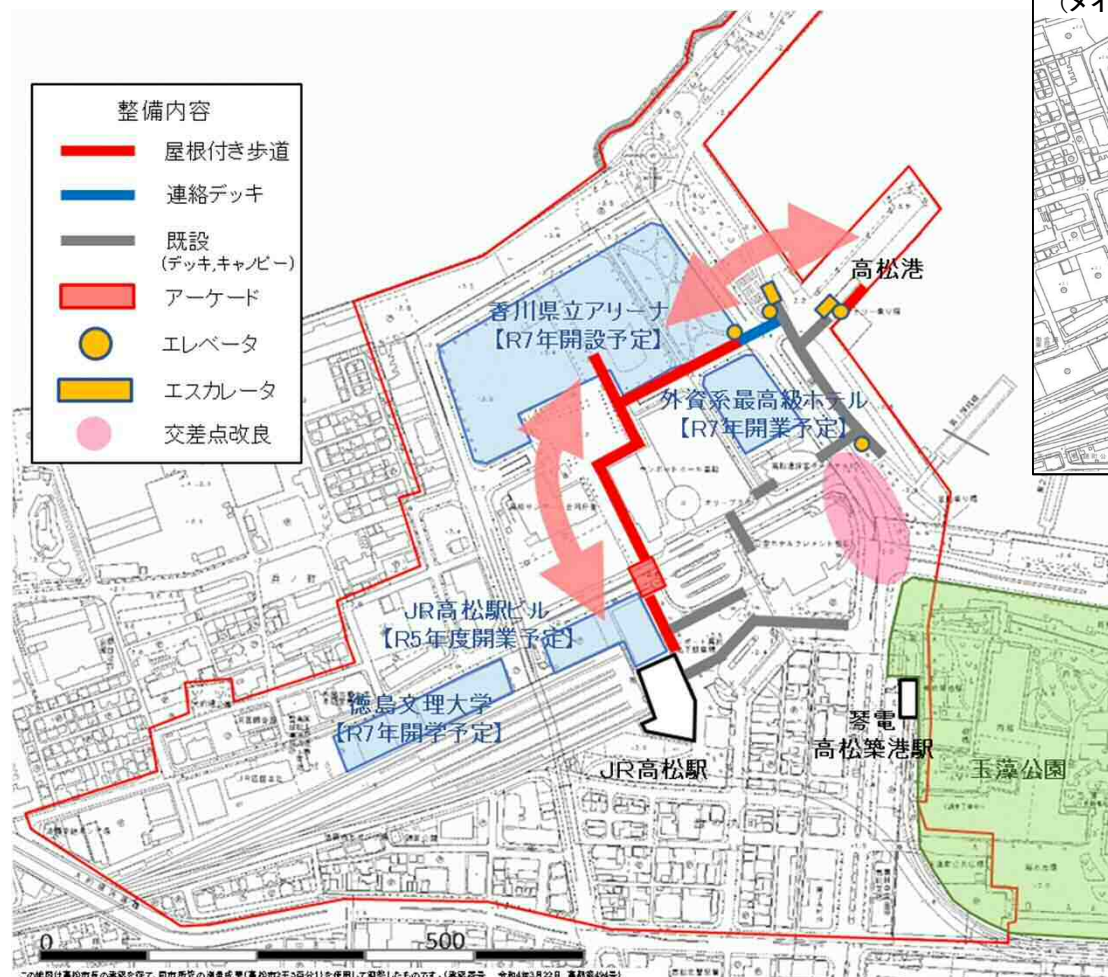


Copyright (C) 2021 Kagawa Prefectural Government and SANAA. All rights reserved.

## (2) 新たな施設の立地計画 快適な歩行空間の確保

○香川県立アリーナの開設に向けて、歩行者の快適性・利便性向上を図るため、屋根付き歩道や連絡デッキの整備により、駅や港からの安全で快適な歩行空間を確保することとしている。

### サポート高松地区都市再生整備計画



屋根付き歩道のイメージ図

### (3) 香川県総合計画の見直し

- 現行の県総合計画は、令和3年10月に策定したところだが、少子高齢化とそれに伴う人口減少などの課題は、さらに速度を増し、より深刻化している。
- さらに、コロナの長期化や世界的サプライチェーンの危機、急激な原油・物価高騰など、これからの本県の社会経済や県民生活、自治体経営に大きな影響を及ぼす新たな事象も発生している状況となっている。
- こうした状況を踏まえ、改めて中長期的な将来を展望し、本県の目指す姿と向かうべき道筋を構想したうえで、今、手を打ち、取り組む必要のある政策を、全部局が県民目線に立って一体となって推進する視点で再構築するために、計画の見直しを行うこととしている。

#### 新たな基本目標

##### 「人生100年時代のフロンティア県」の実現

人生100年時代を迎える中、すべての県民が生涯のあらゆる段階で活躍し、人生の豊かさと幸せを実感しながら安心して暮らすことができる地域社会を全国に先駆けて実現する「人生100年時代のフロンティア県」を目指す

#### 新たな基本方針

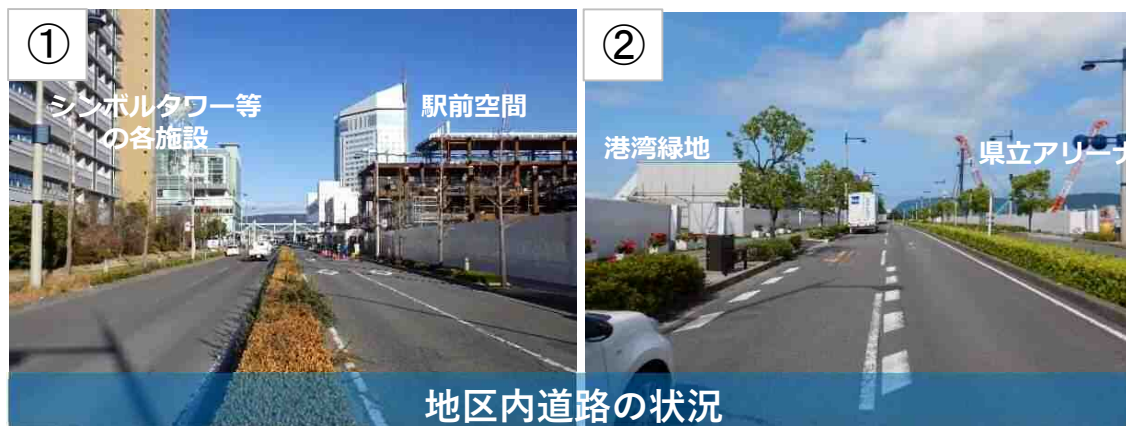
- (1) 安全・安心で住みたくなる香川をつくる  
「**県民100万人計画**」
- (2) 活気に満ち挑戦できる香川をつくる  
「**デジタル田園都市100計画**」
- (3) 多くの人が行き交い訪れたくなる香川をつくる  
「**にぎわい100計画**」

⇒サポート高松における、より一層のにぎわいの創出を図る



## (4) サポート高松地区の問題 地区の分断、不十分なオープンスペース

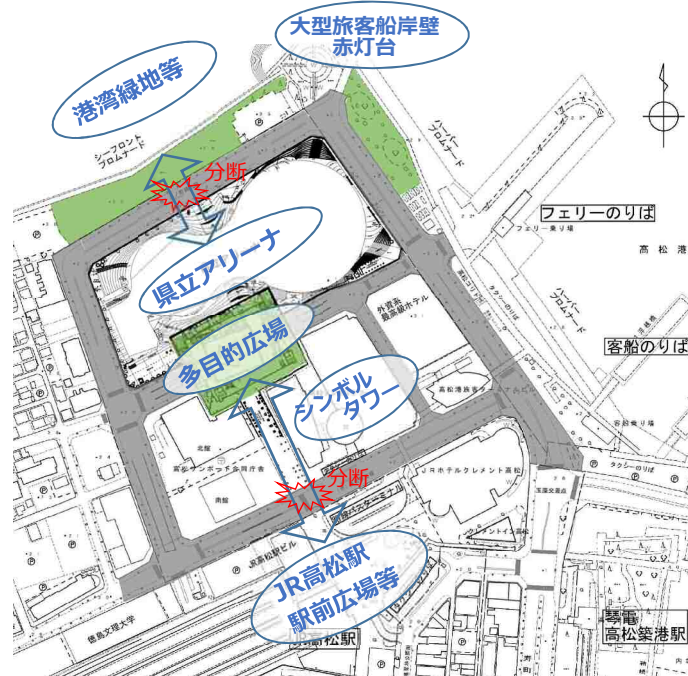
- 現状の駅、港、海辺空間、シンボルタワー等の各施設が道路で分断されている。
- 大型テント広場等のオープンスペースが減少し、既存の緑地、広場等も分散しているため、多くの人を受け入れる一体となった空間が十分でない。



### 3 サポート高松地区のプロムナード化について (1) 基本的な考え方

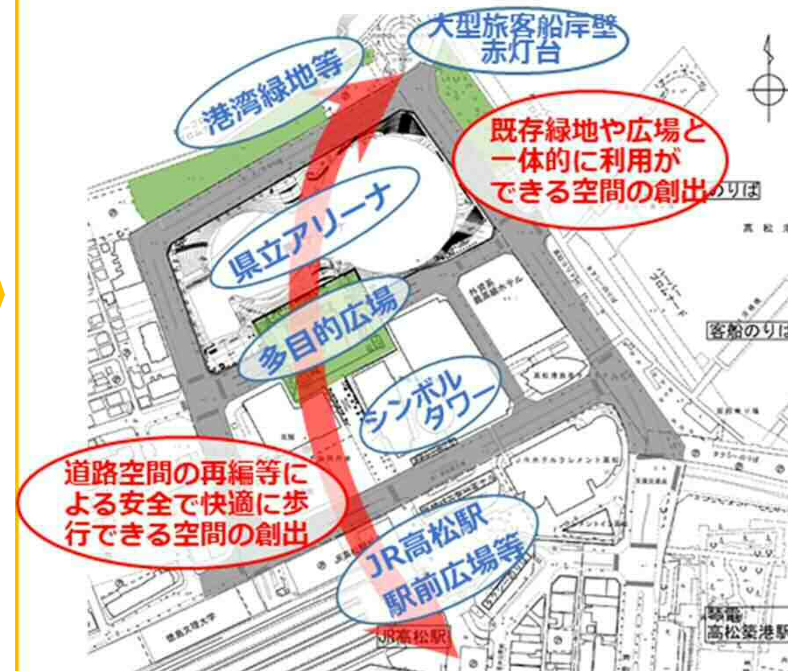
#### 現状の問題

- 現状の駅、港、海辺空間、シンボルタワー等の各施設が道路で分断されている。
- 既存の緑地、広場等は分散しており、多くの方を受け入れる一体となった空間が十分でない。



#### 問題に対する考え方

- 県立アリーナにおける大規模イベント開催においても、JR高松駅からウォーターフロントに向かって、安全で快適に歩ける空間の創出
- 既存の駅前広場や港湾緑地と一体的に活用できる空間の創出



地区全体として、にぎわいのある  
一大プロムナード化の実現

### 3 サポート高松地区のプロムナード化について (2) 将来イメージ



JR高松駅

高松サポート  
合同庁舎

JR高松駅北側市道  
を西へ望む



※これらのパースはプロムナードの検討用に将来イメージをお示ししているものであり、方針等が決定したものではありません

### 3 サンポート高松地区のプロムナード化について (3) 検討フロー

現状、問題、方向性（ビジョン）の共有

サンポート高松地区のプロムナード化に向けた論点整理

**整備による効果**

**周辺交通等に及ぼす影響**

**関係者との合意形成**

社会実験・アンケート調査等の実施

整備効果の評価

周辺交通等への影響の検証

関係者との合意形成の検討

**プロムナード化の進め方の検討**

## 4 検討にあたっての取り組みについて

○プロムナード化に向けた課題等を評価・検証し、方針決定の参考とするため、社会実験を実施し、交通流動調査、アンケート調査などを行う。

### プロムナード化により想定される効果と影響



### 社会実験（7月頃を予定）

#### 交通流動調査

- ・人や自動車の交通流動特性を把握
- ・交通混雑、渋滞
- ・経路転換
- ・滞留時間など

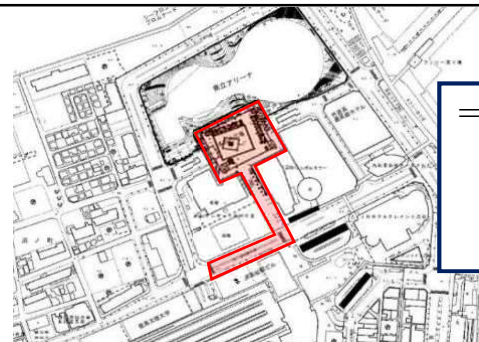
#### アンケート調査

- ・利用ニーズの把握など

### 【参考】G7香川・高松都市大臣会合の関連イベント

市道高松駅北線の道路も活用して、一大にぎわい空間を創出するイベントを開催予定

- ・実施予定日：令和5年5月21日（日）
- ・実施内容：同日開催のサンポートマルシェと一体となった休憩スペースの設置やワークショップ等



⇒本イベントにおいても、上記調査を実施し、高松駅北線が通行できない状況の評価を行う。



## 5 今後の進め方について スケジュール

